

数ヶ月前に彼女は
このクラスに
転校してきた……

カッ

カッ

なる

カッ

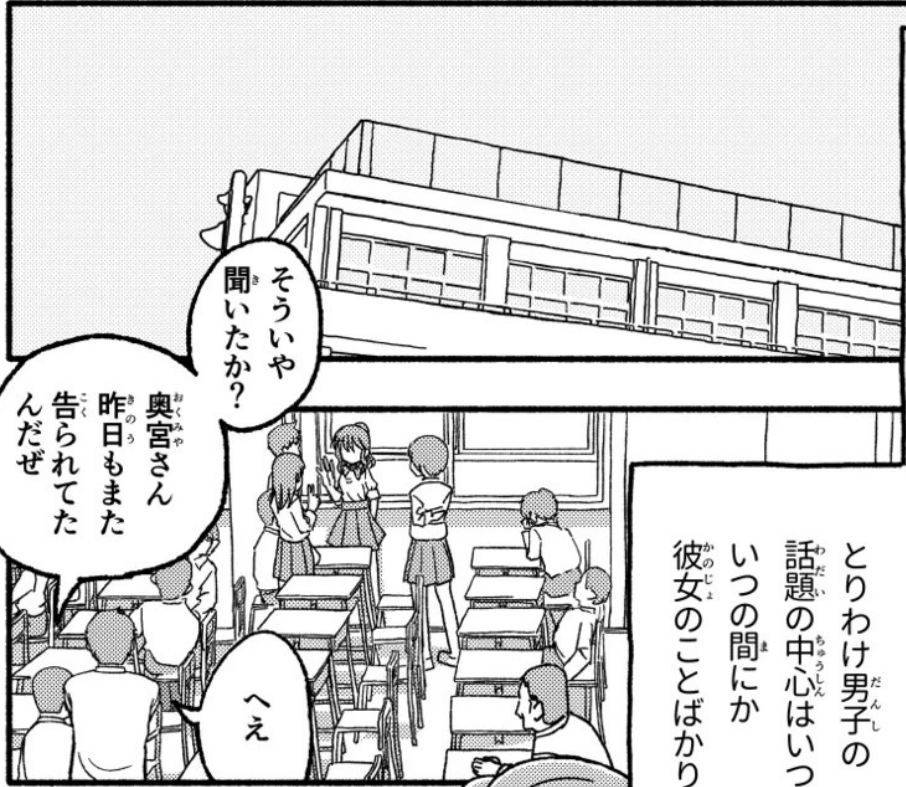
幼少期はこの地域にいたが
海外に引っ越して
今回また戻ってきたそう

才色兼備で明るく社交的。
瞬く間にクラスの中心になるのは
当然のことだった。

すごい
美人だ
……

よろしくね♪

数ヶ月経た今もその輝きは
人を惹きつけ続けている



そーいや
聞いたか？

奥宮さん
昨日もまた
告られてた
んだぜ

へえ

とりわけ男子の
話題の中心はいつも
いつの間にか
彼女のことばかりだ

まあ未だに
週一くらいで
誰かがアタック
してるもんな



ちら

おっと……
目が合った

マジ!?

いやそれが
相手とうとう
吉之内先輩だと

ほら あの御曹司で
サッカー部キャプテンの



サッ……

いつの間にか
見入って
しまう……





つついに
持ってかれ
ちまうのか

いや結局
駄目だった
みたいだぞ
いつも通り

奥宮さんにも
心に決めた人が
いるらしいが



幼馴染みがいて
その人に一途で
って話……？

誘いを断る方便だろう？
あり得ないって……
そいつ何なんだよ
存在するとしたら

密かに
いんのかな

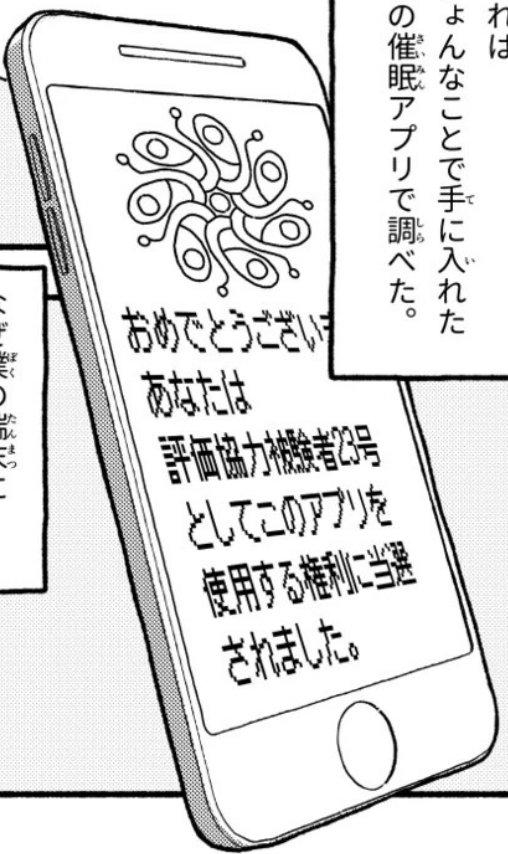
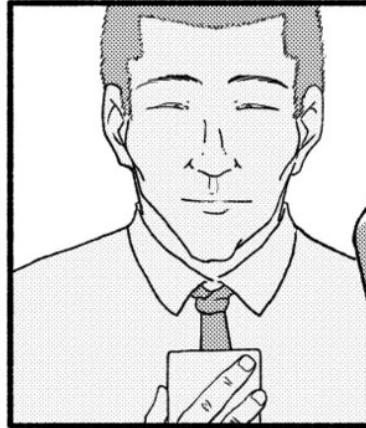
大学生の
彼氏とか

うっ

また
話題の中心に
なってる……

実際……
奥宮香織に
彼氏はいない

それは
ひよんなことで手に入れた
この催眠アプリで調べた。

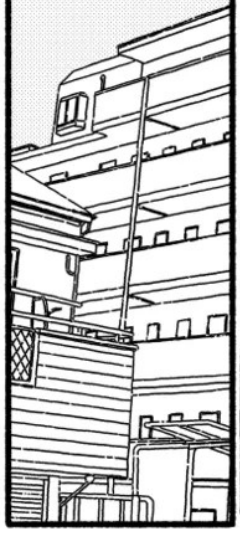


おめでとうございます
あなたは
評価協力被験者23号
としてこのアプリを
使用する権利に当選
されました。

なぜ僕の端末に
これが入り込んだ
のかは分からない。

だが徹底的に
効果を試してみた
その結果は
本物だった

そして僕は
このアプリを最大限に
有効活用した。



彼女には実際、
恋心を抱いていた幼馴染みが
いたようだ

この催眠アプリで
僕をその愛しい幼馴染みだと
誤認させた後はただ
互いに肉欲に従うだけで
よかった

僕達はこれまでの時間を
取り戻すように求め合い
放課後は愛し合った……





学校の皆には
秘密の交際だ

気持ちいいよ
奥宮さん♡



部屋のベッドで
僕らは何度も何度も
一つになり

もうちょっと
根元もぺろぺろ
してみよっか

ん……

相手の身体を悦ばせる
やり方を探り合って
互いに奉仕し合った



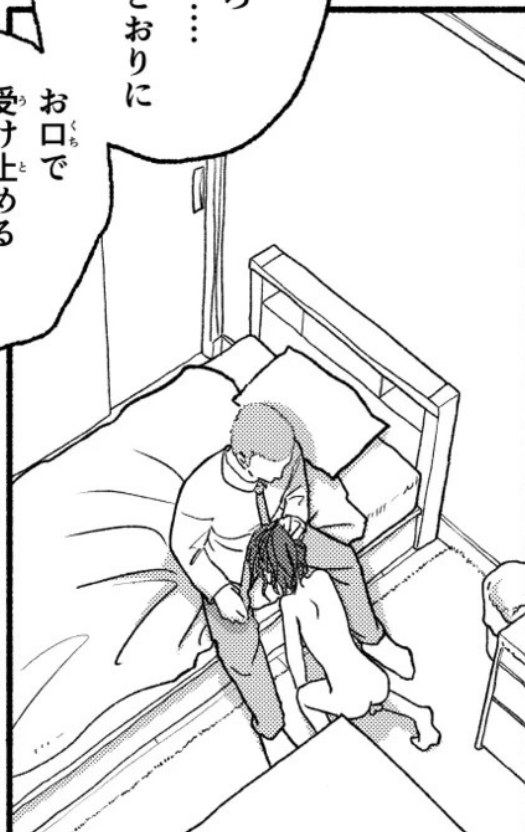
そろそろ
イキそ……
教えたとおりに



射精る
……よっ♡



お口で
受け止める
ところ
見えるように
……ね……っ





ふ……う……う……
一滴も零しちゃ
駄目だ……よ♡

管に残ったのも
吸って……
味わって……ね♡

このアプリ……



思いがけず手に入れた
謎のアプリだったが

限界はあるとはいえ
効果はあまりに
万能だった

幼馴染みと
誤認させる他
彼女の徹底的な
性調教にも有用で

ちゅっ♡

さらに
本来の幼馴染みの
状況を探り

はま

はま

奥宮さんに
近づかないように
させるのにも使った

♡

♡

ふたりの時間の
障壁となるものは
すべて排除した……

よしよし
いいこ♡

ごっくん
していいよ



んっ……

……よく
できました♡
抵抗なく
飲めるように
なってきたね
嬉しいよ

じゃ……
立って？



ただ……

何回見ても
きれいでえっちな
身体……

かわいいなあ
奥宮さん♡

現在……奥宮さんに
僕を幼馴染みと
誤認させる催眠……

言うなれば
【幼馴染み催眠】は
かけていない

ありがとう
……ごさいます
ご主人……様

対象の心の根幹に
あるようなことを
変えてしまう催眠は
長期間は持続しない

……というのが
このアプリの
唯一に近い
弱点だ

じゃ今日の
おトイレ行こっか

う……

ほらベッドで
四つん這いになって
お尻こっち向けて



【幼馴染み催眠】は
かけても通常
一週間少して効果が切れ、

次に有効になるまで
多少のインターバルが
必要となる

じゃあ……
抜いていく
からね♡

様々な実験を経て
僕はそれをうまく
解決する方法を探した

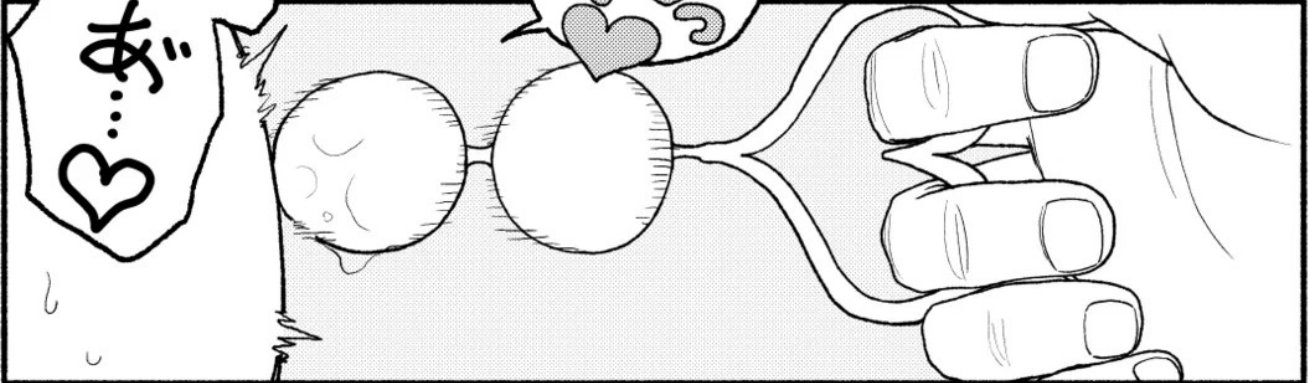
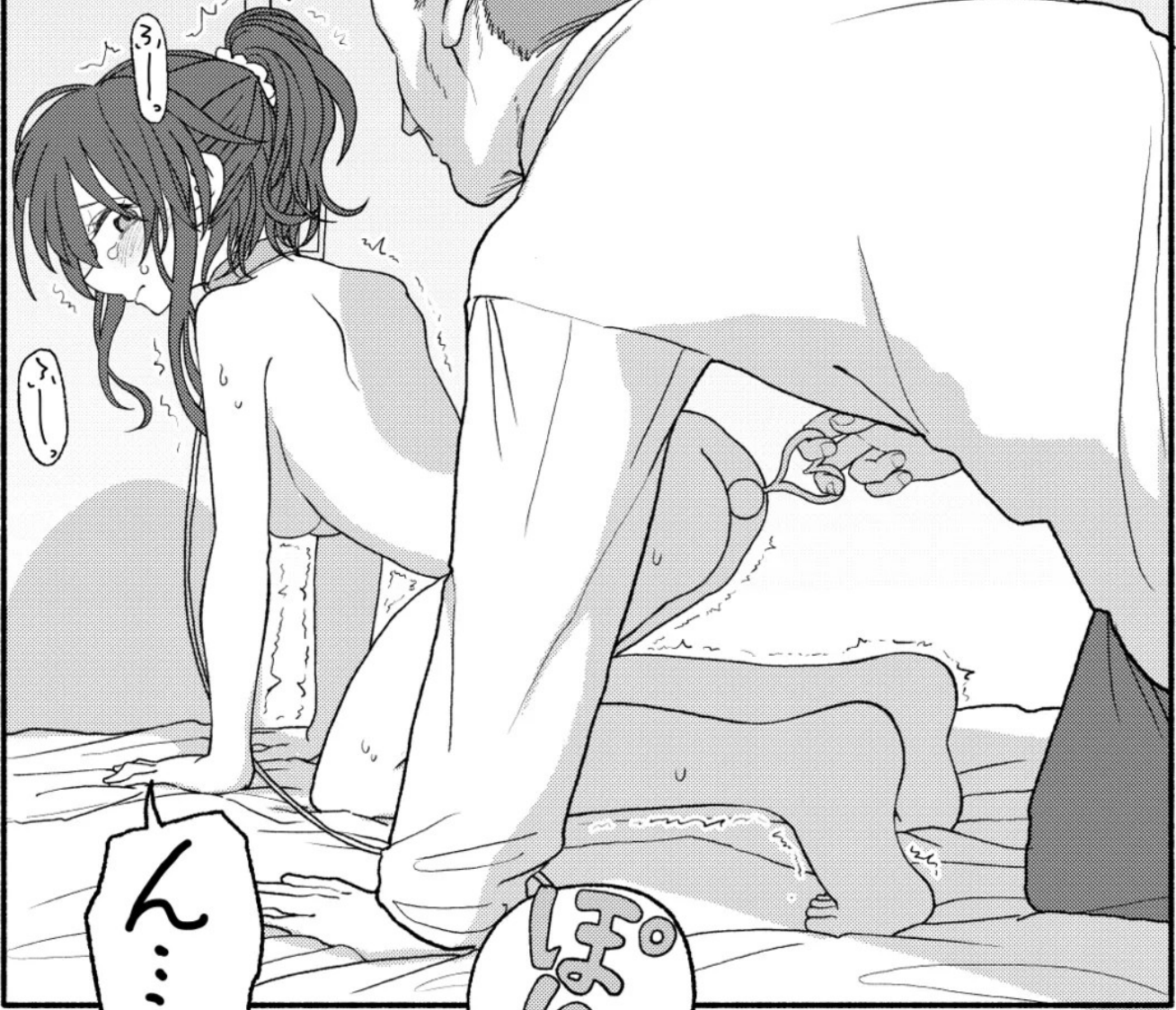
あ……

……そして
行き着いた文言がこれだった
「僕を幼馴染みと誤認する」

おん
♡



「—ただし、
このアナルビーズが
入っていないときのみ。」





3個目♡
これで半分
抜けちゃったね

女...

やっぱり...
待...



だ...めっ



観念かんねんしなつて
奥宮おくみやさん
もう半分
出でちゃつてるん
だから

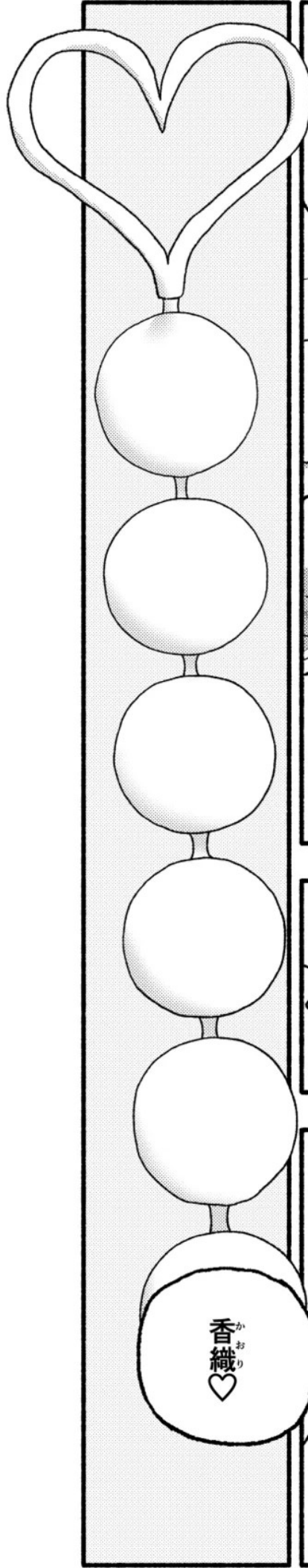


ひろ...くん
あ...♡

いや...
いや...



従したがつてれば
ちやくんと
戻もどしてあげるから
...約束やくそくでしょ?



ひろくんじゃ
ないでしょ

ほら耐えて
あとちよっと

え……
え……
……?

あ……う♡
あ……れ?
わた……し



あと一個……



……と
はい
全部抜けたよ♡
お疲れさま

香織♡

あ……
う……♡



おトイレ
行くんでしょ？
ほら 服かき着かて

へ……？
あ……っ
ううん

あ あの ひろくん……？
私わたし変へんなことしてないよね？

き 記憶きおくが
なくて……
えっちしてたん
だよな……？



わ 私わたし
もしかして
すっごく
乱みだれて……？



?
?

大丈夫だいじょうぶ大丈夫だいじょうぶ
ごめんね香織かおり
ちよっと気絶きせつするまで
いじめちゃった♡

そ そう
だったんだ……♡
うう……それも
恥はずかしいけど

い 行いって
くるね

……負お荷かの軽かい催さい眠みんと
重おもい催さい眠みんがあるのは
実じつ験けんから明あらかだった



【幼馴染み催眠】は
重い最たるものだ
一週間そこらで
必ず解除されてしまう

更に解除されている間にも
催眠をかけていた間の
記憶にアクセスできない
ようにする催眠をかけて
おく

だから
「奥宮さん」には
催眠を明かし
全てを思い出して
もらい

陵辱調教を行う
段階へ移った

それも
少くない負荷が
蓄積してしまう

恋人であった間の
僕と「香織」との
親密な恋人同士の
アルバムをネタに

……本来の
幼馴染みのことも
利用した

早い段階で
この催眠アプリで
他クラスにいた
その当人に接触し
アプリで質問し
正直に答えさせたが

奥宮さんが帰ってくる
などは夢にも思わず
既に中学時代から
交際している彼女がおり
それは奥宮さんも把握
していた

しかしこうなると
かなり奥宮さんに
未練はあることを
自覚してもいた



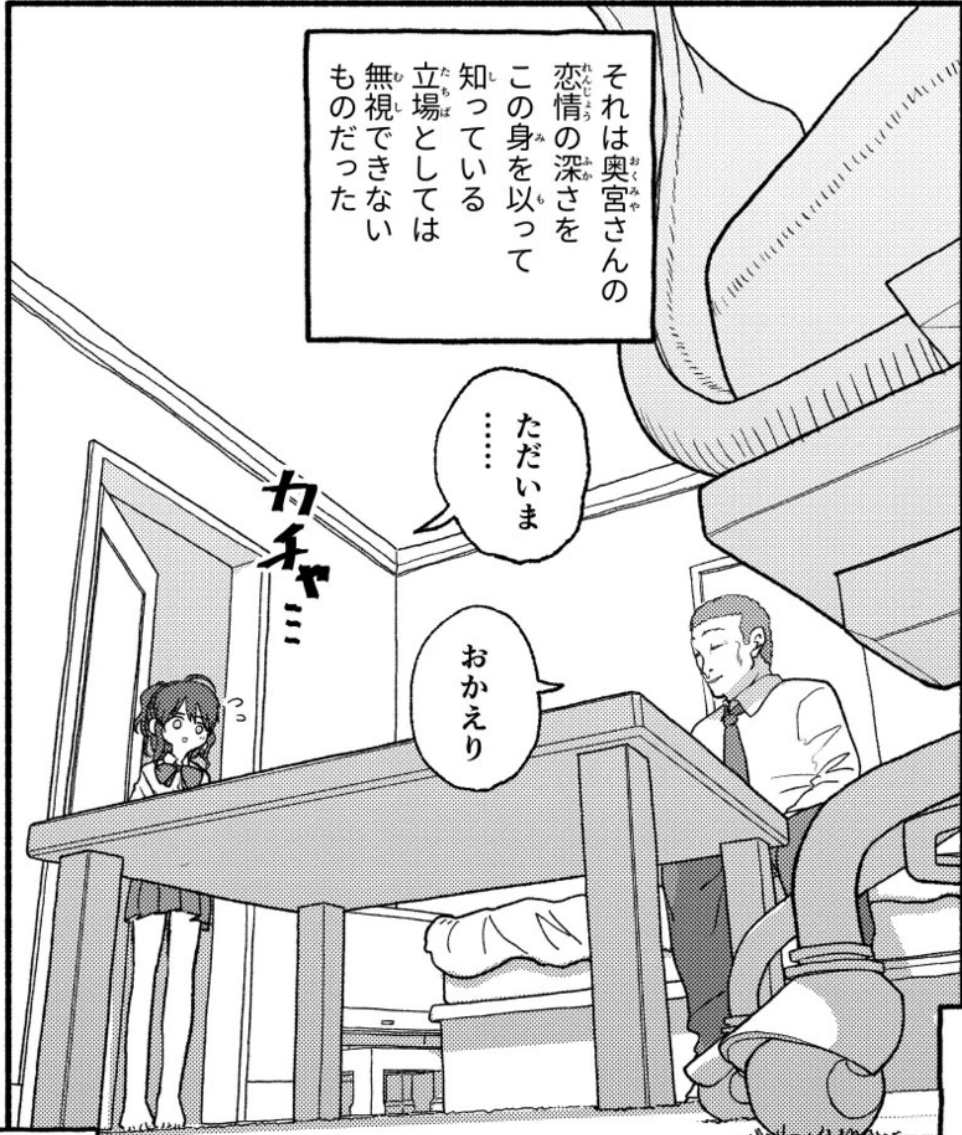
現状
二人が即刻
どうこうという
心配はなかったが
……

それは奥宮さんの
恋情の深さを
この身を以って
知っている
立場としては
無視できない
ものだった

ただいま
……

おかえり

カチャ



長い目で見れば……
場合によっては
このすれ違った
状況という障壁は
彼らの恋心にとって
どう燃え上がるか
危険性もある

だからこそ――

だからこそ、
僕が与えている幸福は

ね……

「彼ではなく僕相手ですが
人生で味わうことが
できなかった最高の瞬間」
なのだという事実を執拗に
意識させる必要がある

ん？

じゅ……

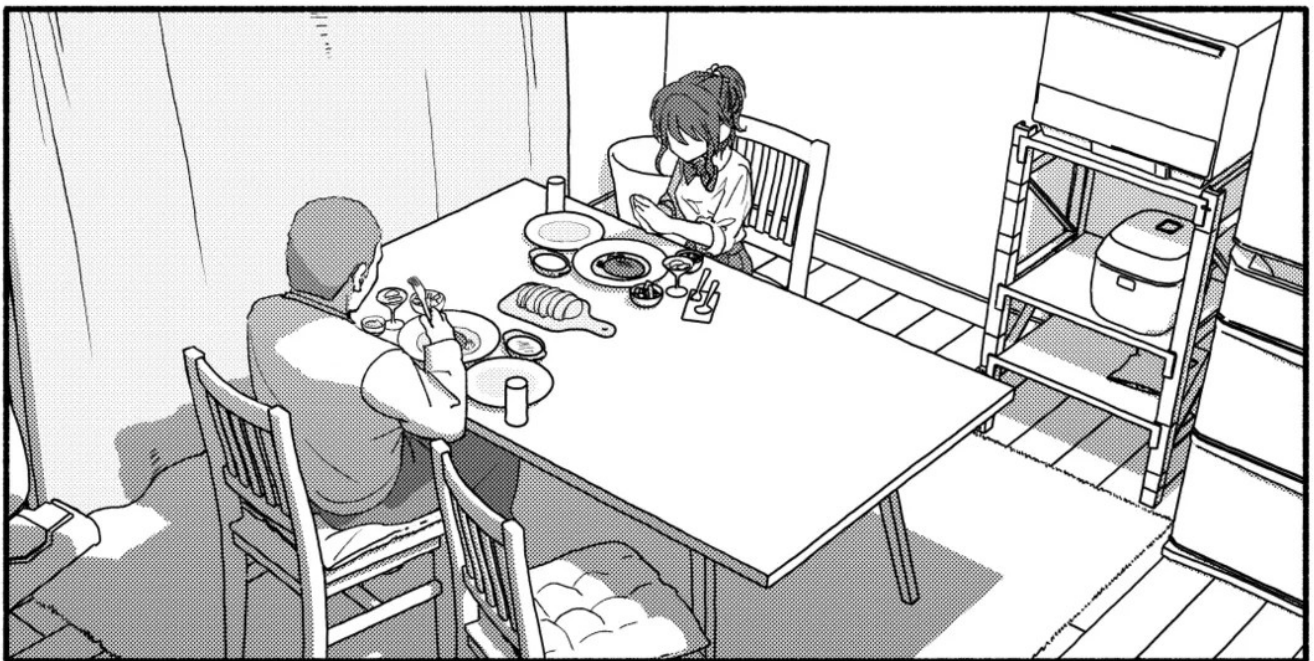
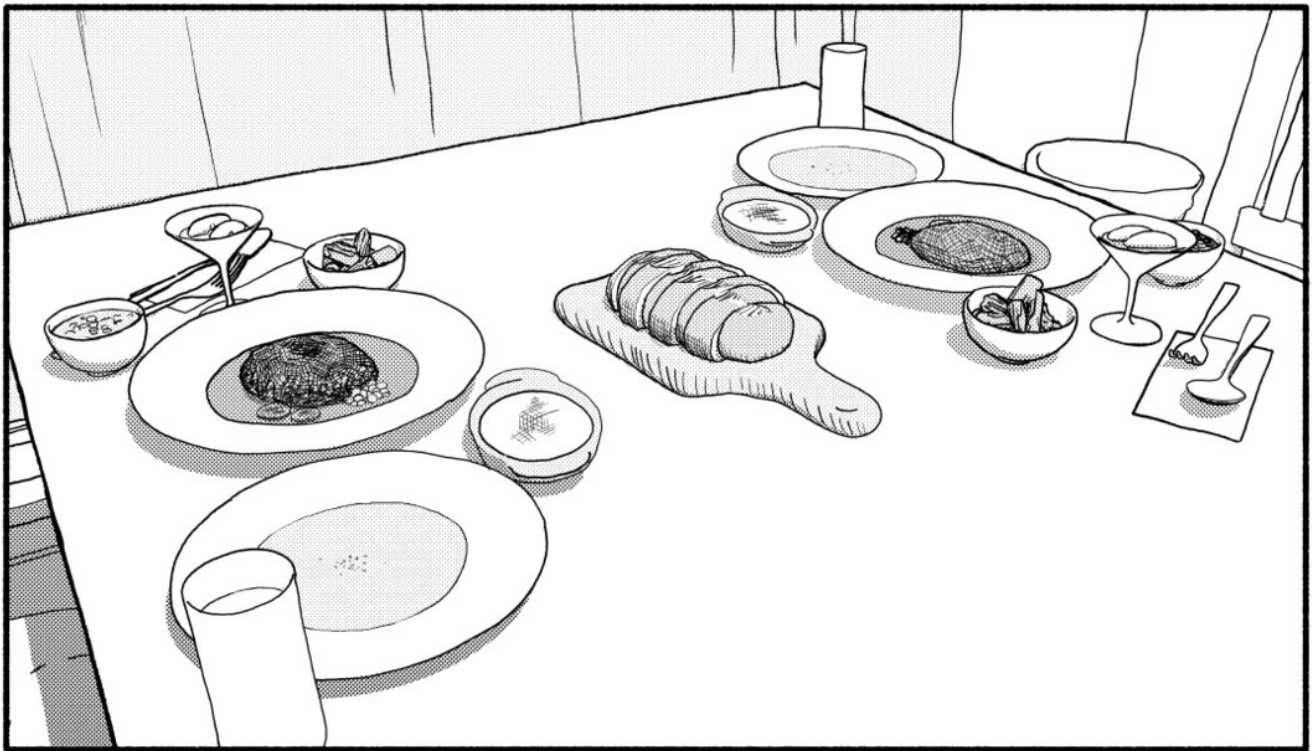
今日お泊まり
してく……？

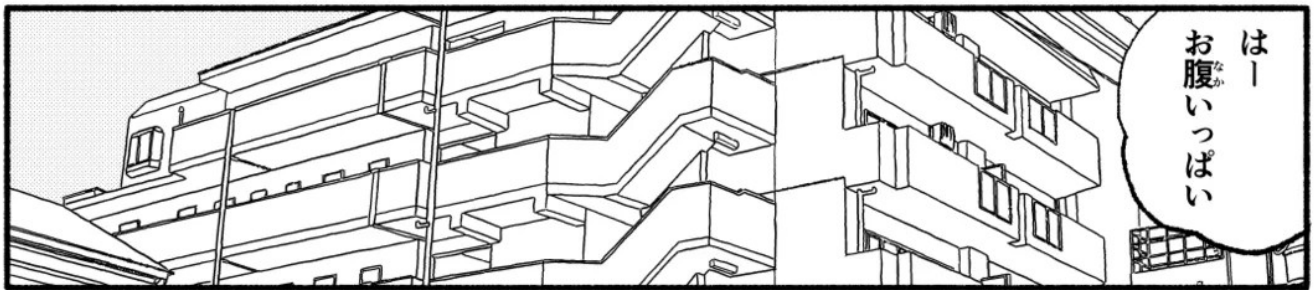
彼本人にはもう決して奥宮さんに与えることのできないものだ。
初めて同士の純潔を捧げ合った、今後も決してあり得ない幸福。

いいの？
じゃあ
しようかな

ほんと……!?
やった……っ







はー
お腹いっぱい



なんて……

エッチだなあ
香織は……

そんなあ……



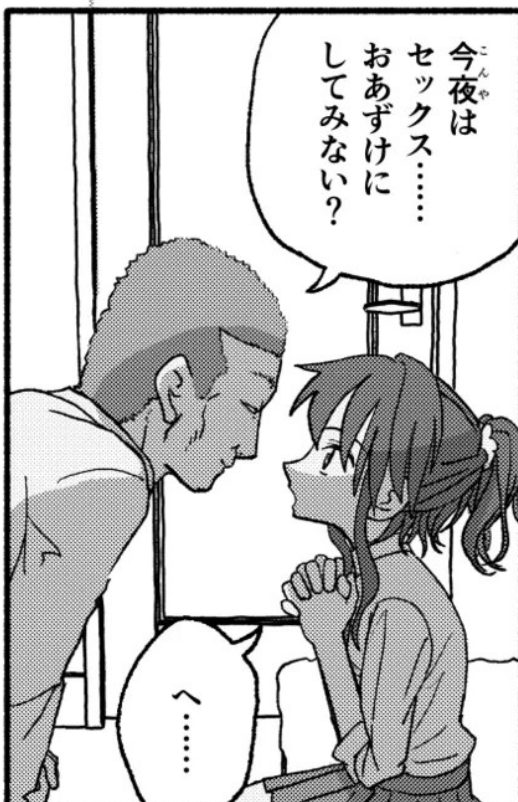
お風呂の準備
するから
リビング
いていいよー

もう
お風呂？

先に……
食後の運動
……する？



……早く
味わいたい



今夜は
セックス……
おあずけに
してみない？

^
……



でも奥宮さんの
約束は
守らないとな

ね 香織
提案なんだけど

?

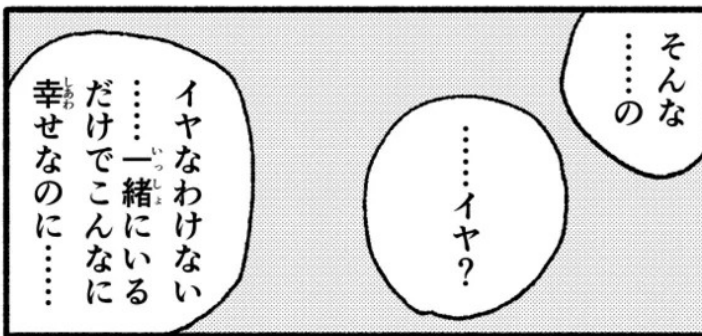


その代わり……
たっぷり二人つきりで
くつついて
いちゃいちゃして……
愛しいって気持ち
高めて高めて……
身体じゃなくて心だけ
びとってくつつけよ？



それでドキドキしたまま
……次のエッチいっぱい
想像して期待して
一日過ごしてさ……
で 次の日……♡

あ……



そんな
……の

……イヤ？

イヤなわけない
……一緒にいる
だけでこんな
幸せなのに……



だってそんなの
想像しただけで
きゅんきゅんして
……あうう♡

香織もう
瞳が甘えんぼ
モードだね

どんな風に
甘える想像
してるの？



う……♡

え えっとね
……

あのね
向かい合ってるね

指と指……
絡ませて

見つめ合って
「すき」って
言い合うの

香織
それさ……
結構えっち
じゃない？

うん……
うん……

うん……うん!!
それ……
すつごく
素敵……っ!!

……私ね
こんなこと……
夢みてたの

ねえそれ……
おでことおでこ
くっつけてするの
……どう？

え

ええ……っ？

大好きなひろくんと
ずっと一緒にいられて
ごはん作ったり
おしゃべりしたり
おやすみもおはようも
一緒に言えること……

そういうのぜんぶ
叶ってくの……
本当に宝物で……

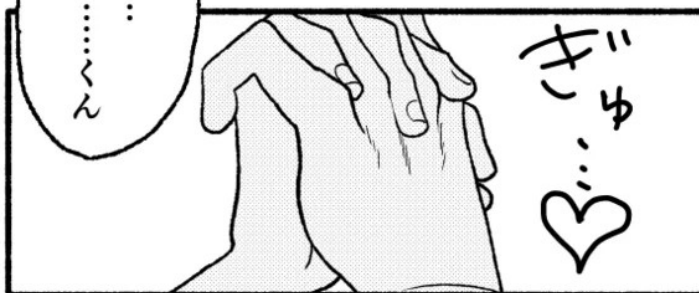


うう……
今すぐ
したいよ

あ……
ひろ……くん



その上……
こんな



ぎゅ
ぎゅ
……
♡



僕も……
同じだよ
香織



あの……ね
辛いときも……
さみしい夜も
ひろくんのこと
想うと……
こわくないの

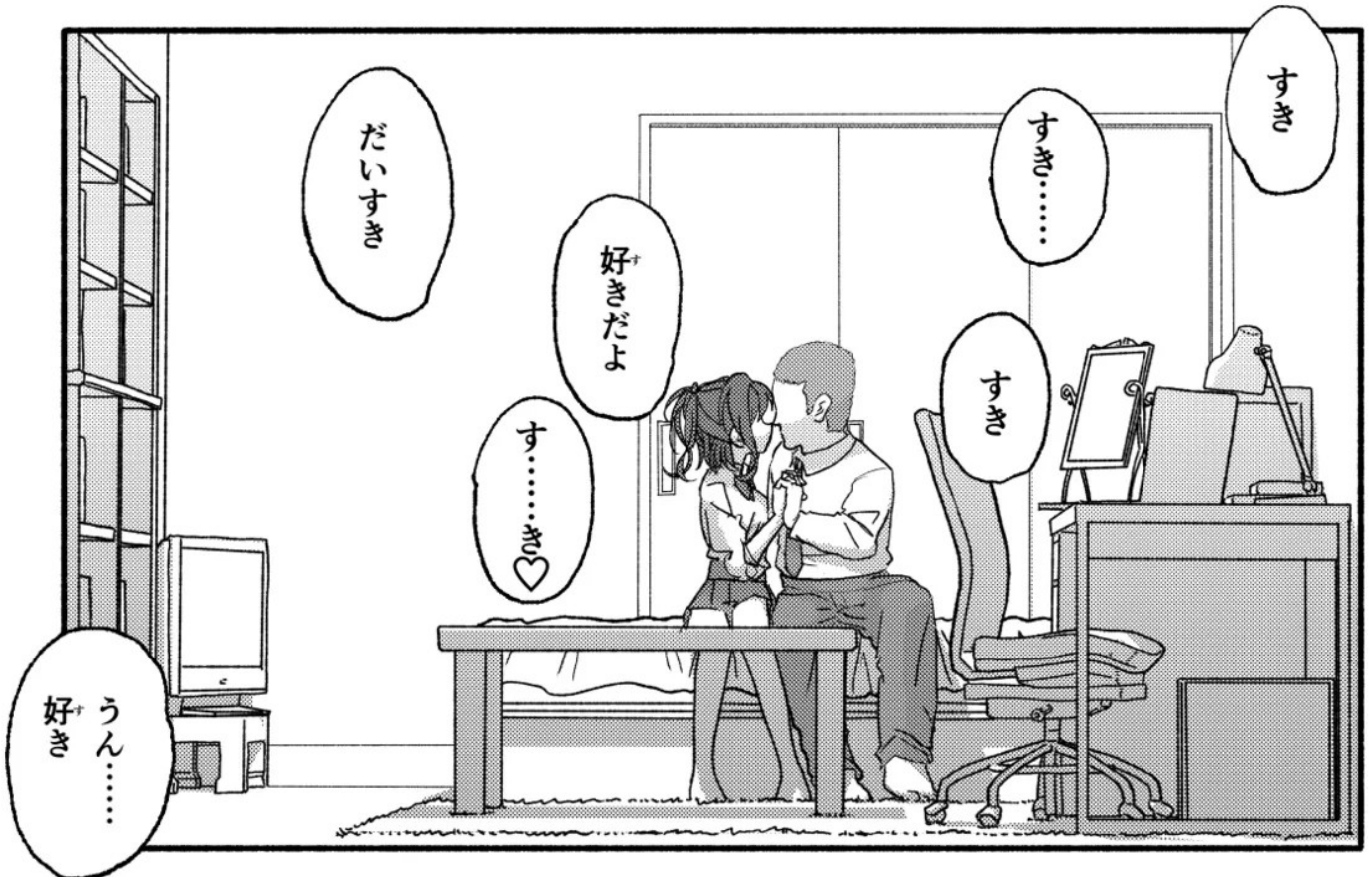


ひろ……くん



すきって
言ってくれた言葉
ぎゅってお布団の中で
抱きしめたらね
なんだって平気で
……







だめだよ香織
……今日は
キスもダメ



「奥宮さん」には
「香織」である間に刻まれた
僕に開発された身体の
様々な記憶もあるので

甘い声を
だ
出させるのは
簡単だった



う……
そっか

そんなに我慢
できないなら

ただ奥宮さんは
強い心を持っていた



カアア

アアア

お尻で遊ぶのは
アリにしようか

……ん？

何より「香織」の状態
ラブラブ恋人エッチを
させられることより
自分が相手をする方が
まだいいと判断したのか
僕に懸命に奉仕したし



心臓の音
すっごいドキドキ
してるよ？

僕に奉仕しながらも
ことあるごとに
スマホを奪おうとしたり

そ……
そんなあ……



う……
う……
♡



さ……
裸になろっか♡

あ……

立場を逆転させる一手を
打とうと虎視眈々と
機を窺っているのが
見て取れた

我慢のきかない
悪い女の子には
しっかりオシオキ
しなきゃね……♡

は 恥ずかしい
よう……

そんなこと
言……

あくまで性調教で
僕はそんな奥宮さんを
屈服させたかったが

遙かに僕より
奥宮さんの方が
頭もよいのは明らかで
反抗心を折るための
対策が急務だった

期待でこんなに
胸が高鳴ってるのに

ほら足抱えて
お尻の穴見せて♡

うう……♡

そして
催眠での工夫で
対処することを
あれこれと
色々考え

最終的に「幼馴染み催眠」に、
「解けている間にも次回の
催眠の予約が仕込まれている」
仕組みを作れないかと考えた。
……それができれば



ゆっくり
ほぐして
……と

それができれば
【幼馴染み催眠】を
解いている間の奥宮さんも
完全に僕のいいなりに
なるしかない



ほら……
期待でお尻
ゆるんで
きたよ♡

んっ……
うっ……
♡

しかしそれを
まるきり催眠の文言
そのものに頼ると
結局催眠の負荷が
大きくなるだけで
本末転倒だ



力抜いて……
ゆっくり……
ゆっくり……

だから……
催眠以外の現象に
連動させることで
この仕組みを
作れないかとは
目星を付けて
いた……

奥宮さんが
「自ら定期的に必ず
しなければならぬ」と
と連動できれば作れるはず

足
開いて
みよっか

あ……
んっ……
♡

催眠の
トリガーのみ
残す……

1個目
入れるよ

う……う

あう……♡

ほくら
入った

ん……っ
ん……っ

じゃお尻
持ち上げるね

続けて
ふたつめ
みつつめ……

それは
定期的に必ず
発動するものと
することで
僕をやり込めても
無意味にする

まず特定の時間にしたが
常に時間を気にする
負荷がかかり不採用……。
次に食事が思い浮かんだが
頻度が多すぎる

ん……
ぐう……♡



よっ……め♡

っ

……っ!!

とおもったところで
答えは自ずと出た

排泄だ。

効果は
観面だった
……大成功だ

はい全部
入ったよ
お疲れ様

奥宮さん♡

【幼馴染み催眠】は
「この」アナル
ピースを入れた
状態では
解除されない

ふー♡
ふー♡

でも排泄するには
アナルピースを
抜かねばならない

どうあっても
いずれは「香織」に
なりてざるを得ない

約束は
守ったからね

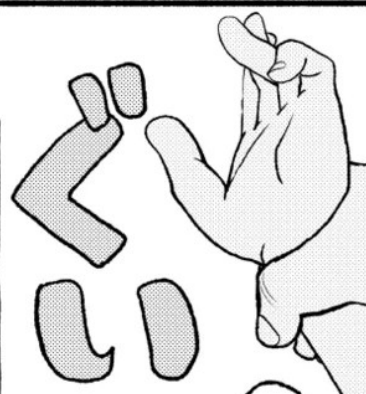
幼馴染みえっちは
しなかったよ

あ……

……そして

催眠について
何の知識も持たない
「香織」は傍らの
アナルビーズが
何なのかは
分からないだろう

じゃ……
奥宮さんとの
セックスだ♡



前述の通り
催眠の解除に
必要なのは
「この」
アナルビーズだ

あ……

紛失でもすれば
二度と戻れない
危険性がある

……実際は
催眠の負荷の
限界があるので
そうではないが。

早く……
済ませて……っ

しかしここまで
奥宮さんは
この催眠アプリの
仕様を知らない

つまり現状……

えー
つれないなあ



アナルビーズを
僕に管理して
もらわなければ
ならないのだ





ある程度は
奥宮さんも
この催眠アプリの
仕様に見当を
付けてはいる
だろうが……

まだまだ
情報は
足りない
だろう

う……

例えば
奥宮さんが
「香織」宛ての
メモを残す等の
方策は
考えられるが

そもそも僕に
心からベタ惚れの
香織が僕より
それを信じる
わけもないのを
差し引いても

あ……

まだそのような
賭けに出るほどの
リスクを取れる
段階にはないはずだ

あ……





そしてこの状況で
僕は奥宮さんと
ある契約をしたのだ

う……

「香織」との甘い濃密な
両思い幼馴染みキスや
いちやいちやセックスを
しない代わりに

あ♡



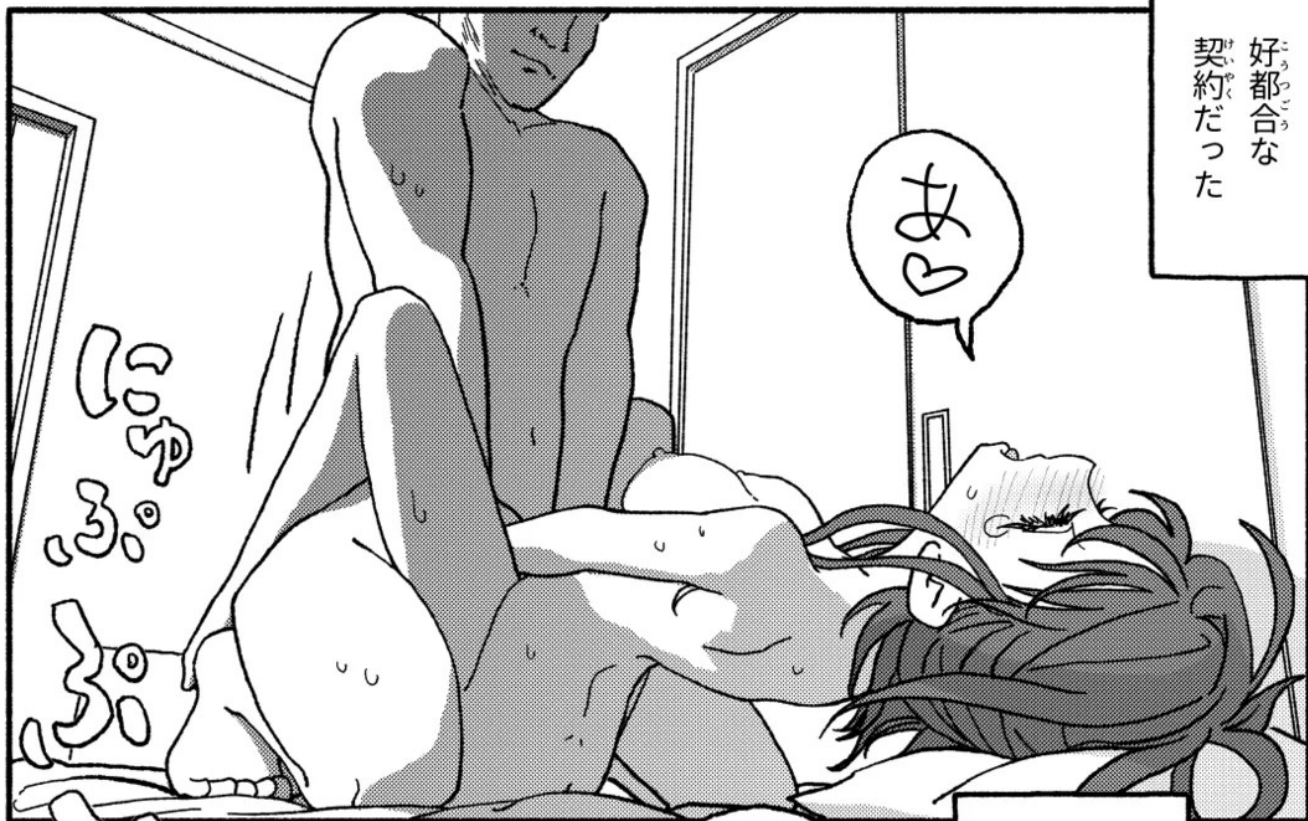
催眠の解けた状態の
奥宮さんの身体は
好きにしている
という契約だ

あ♡

あ♡

好都合な
契約だった

あ
♡



僕が
調教したいのは
「奥宮さん」だ

あ
♡

あ
♡



奥宮さんにとっては
催眠状態の純真な自分を
守ることで自らの恋心を
より守れると考えたのかも
しれないが

ん……
一番太いところ
入ったから

一気にいくね
……♡

は……
……♡

は……♡

は……♡

は……♡

は……♡

は……♡

にちゅにちゅ♡

あくまで
僕の調教対象は
素の奥宮さんだ





ちゅレ

は...♡

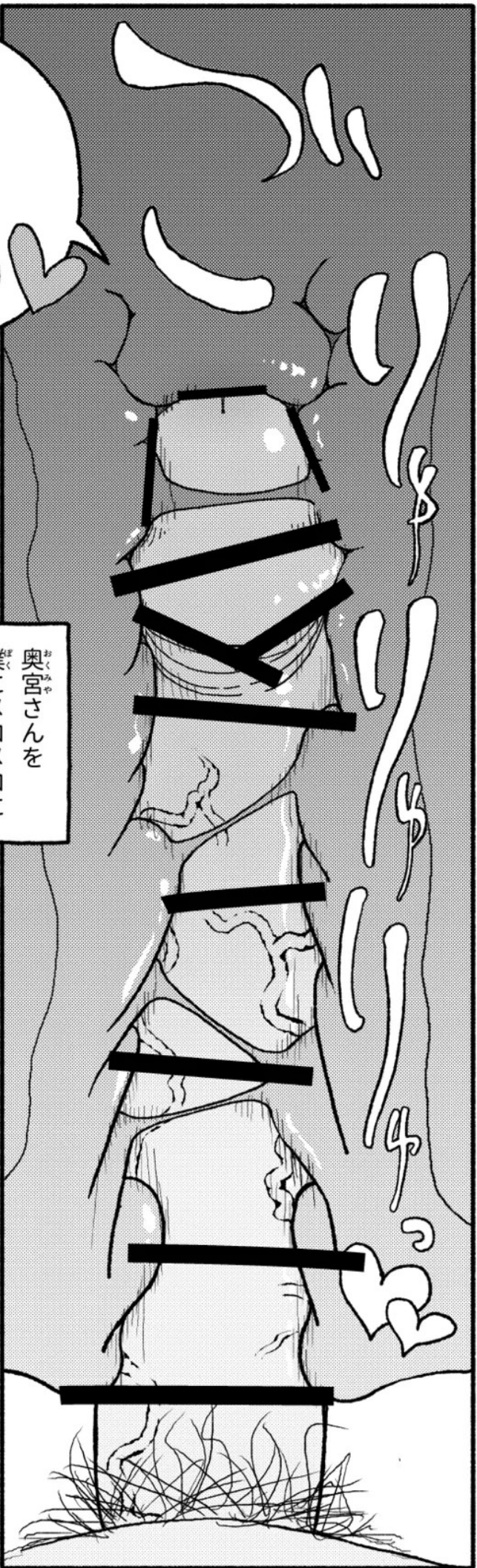
あ♡

ちゅレ

奥宮^{おくみや}さんを
僕^{ぼく}にメロメロに
させる

え♡

あ♡



しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

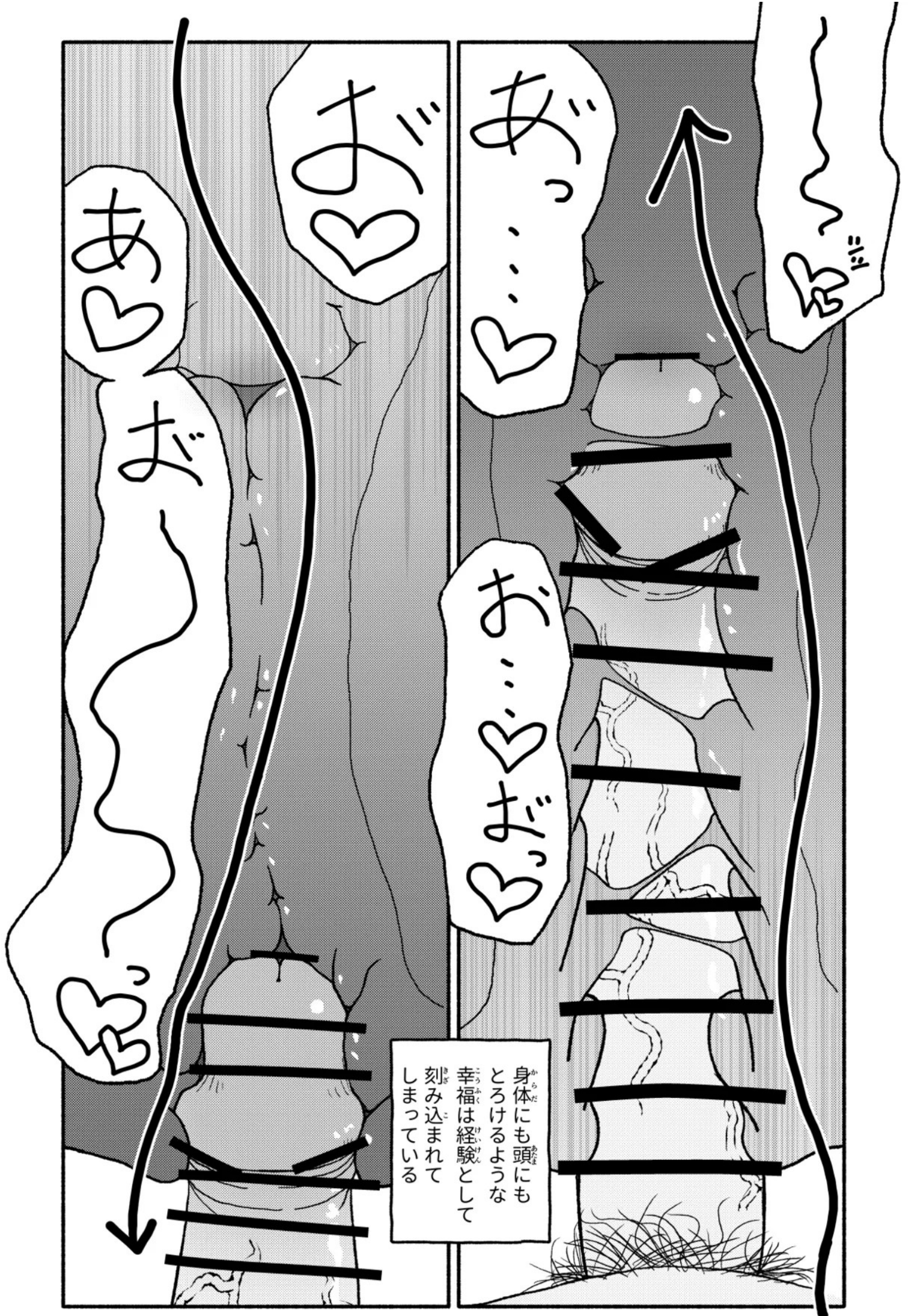
しゅ

ん

ん

ん

ん



あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

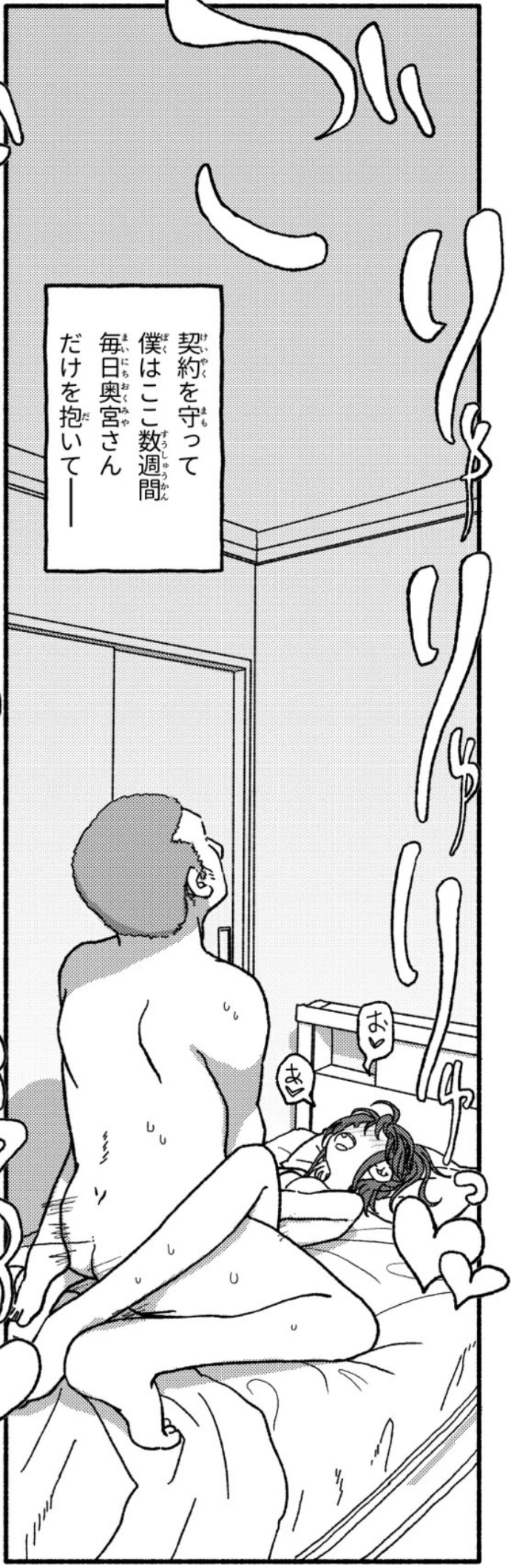
あゝ♡

あゝ♡

身体にも頭にも
とろけるような
幸福は経験として
刻み込まれて
しまっている

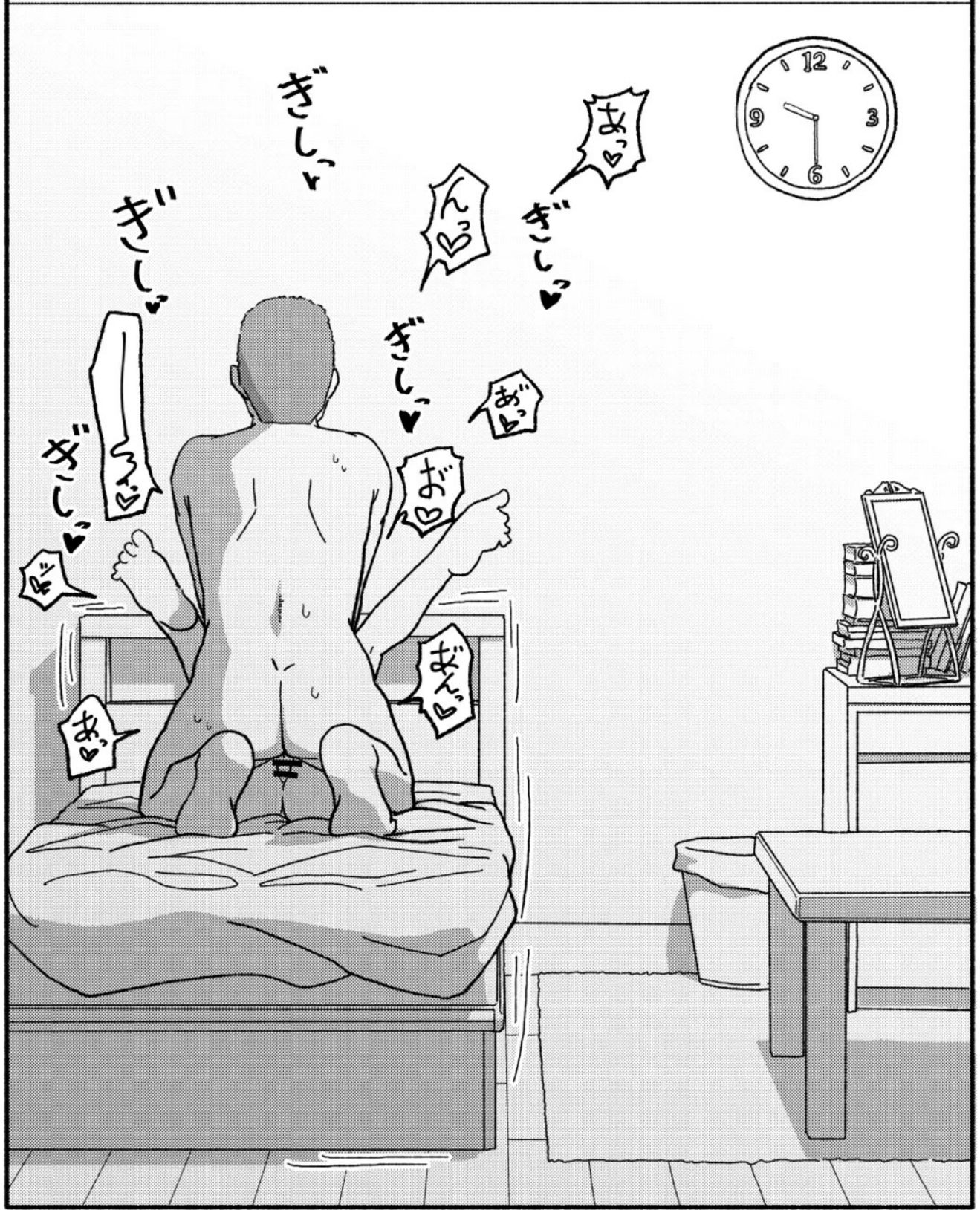


契約を守って
僕はここ数週間
毎日奥宮さん
だけを抱いて—

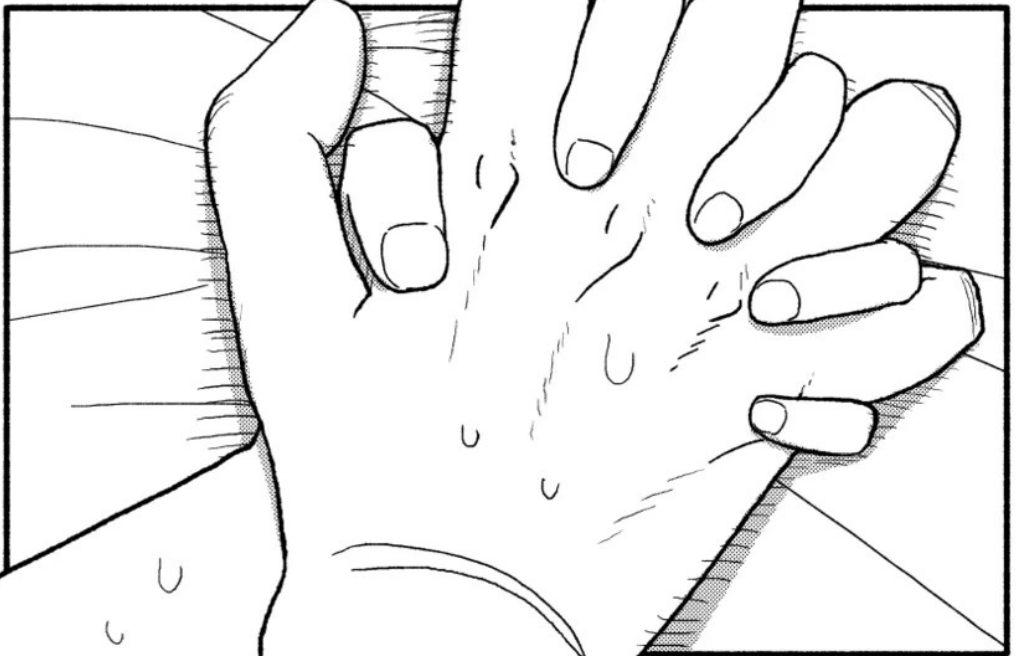
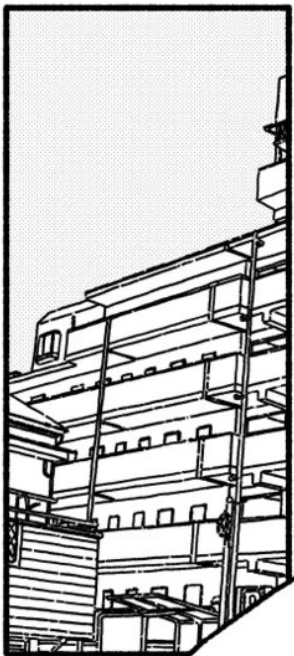


抱いて 抱いて
抱いて 抱いて

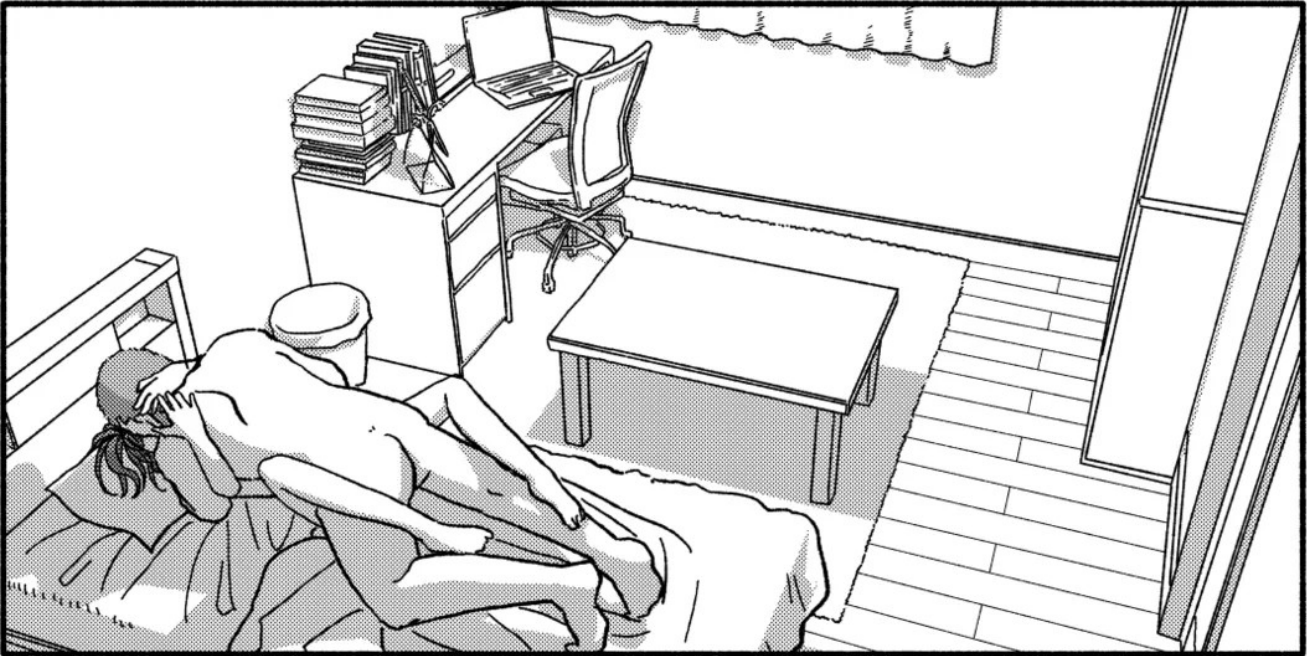
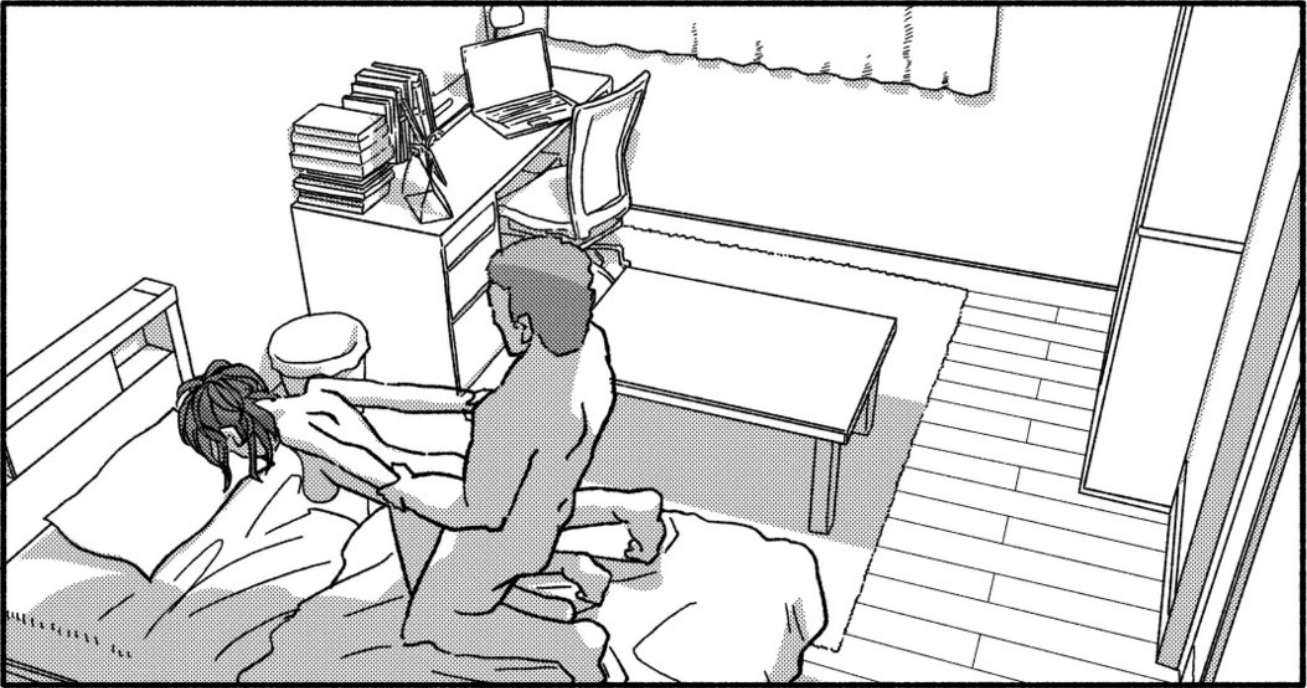
その効果は如実に
からだに現れている

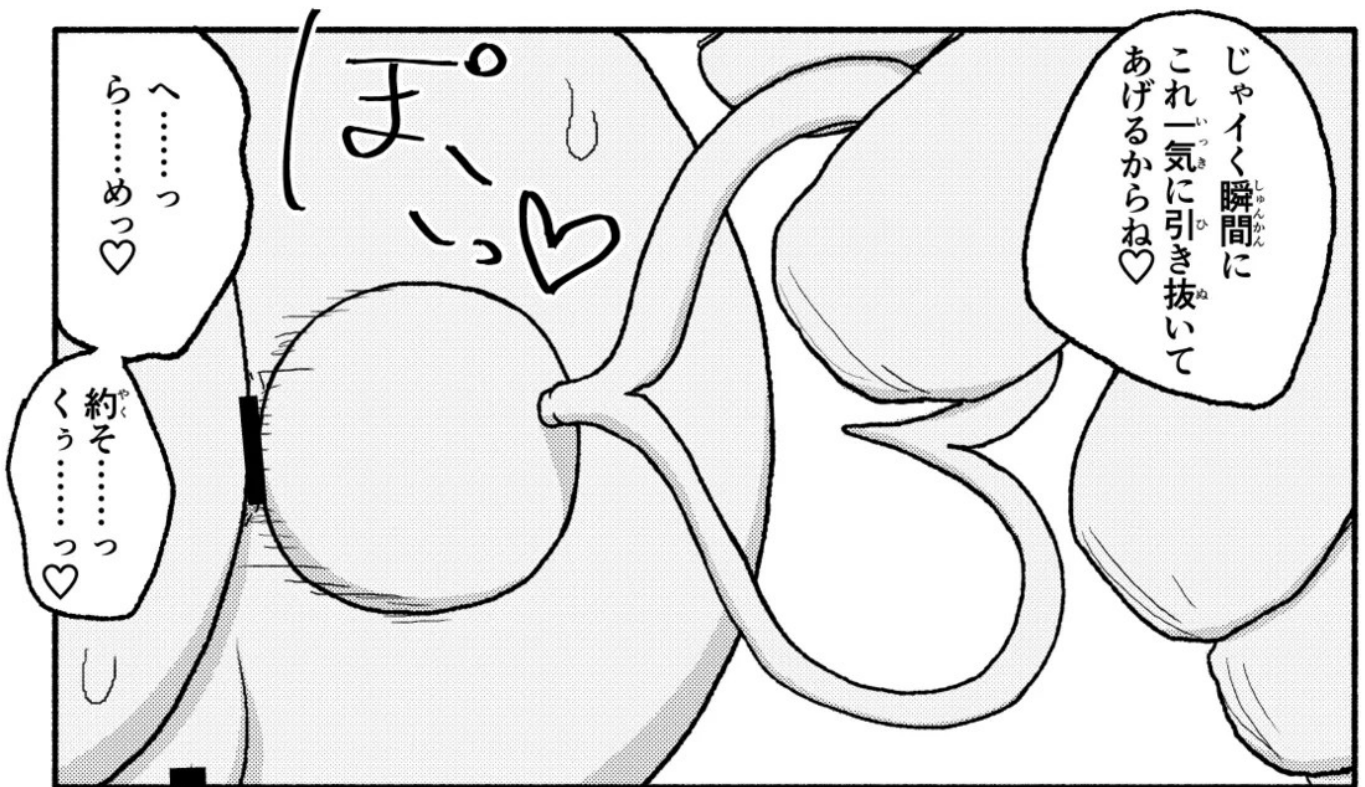


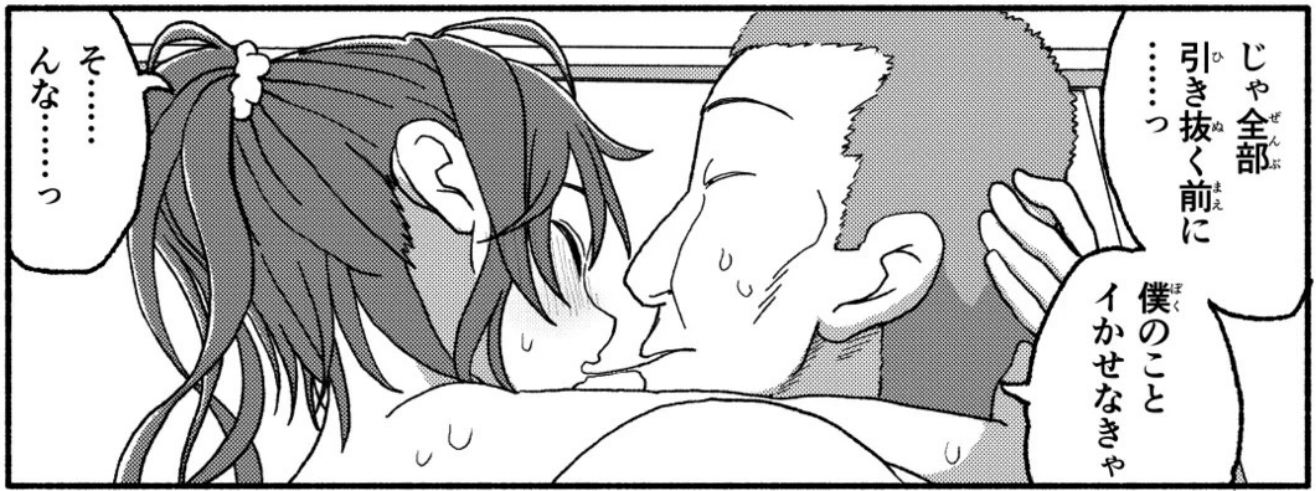












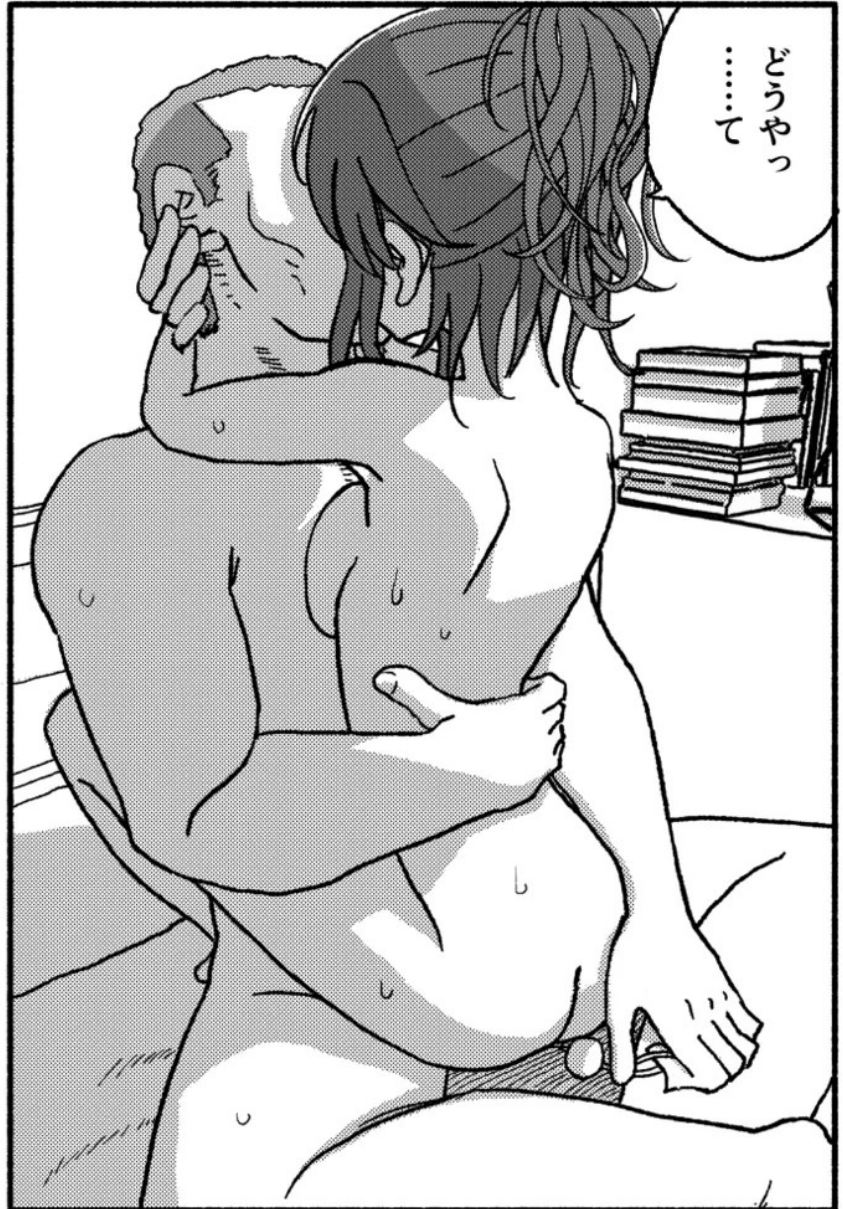
じゃ全部
引き抜く前に
……っ

僕のこと
イかせなきや

そ……
んな……っ



すきって
言……っ！
目……っ
見つめながら



どうやっ
……て



ふ……っ

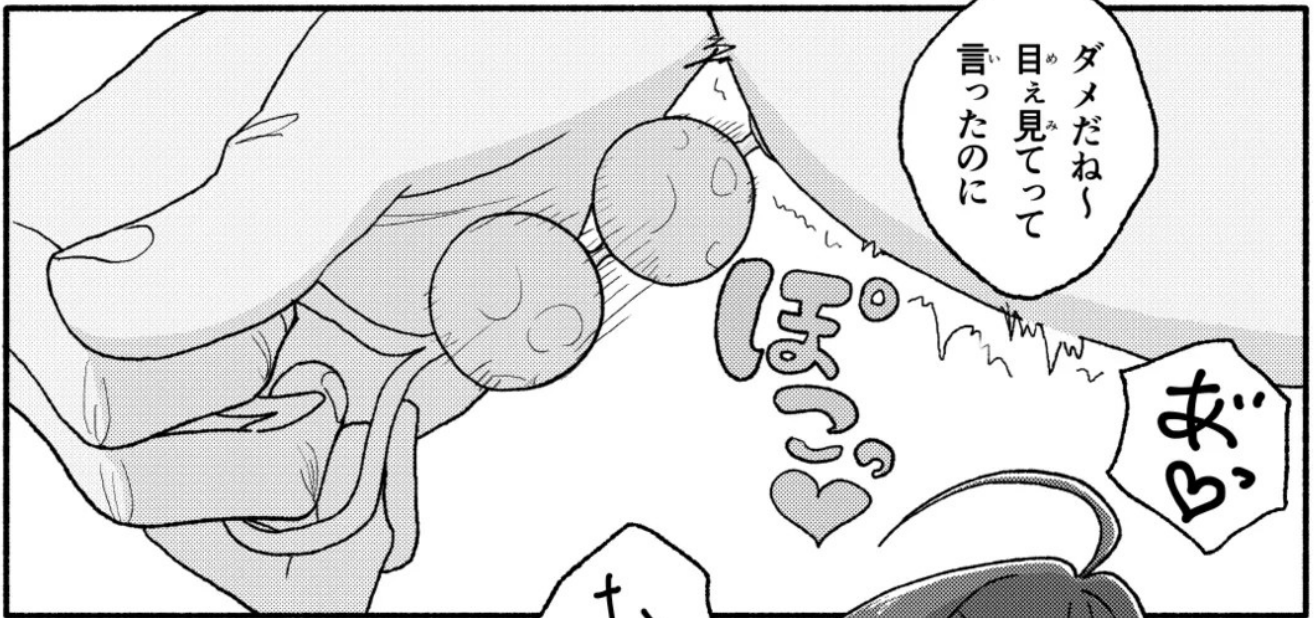
ふ……っ



ふ.....

ふ.....

ふ.....



ダメだねー
目え見てって
言ったのに

おっ

ほっぴ



おっ

おっ

おっ

きゃん

ほら
みつつめ

ほっぴ

奥宮のへ……
おっ……
「おっ」おっ……



す……き……

あなたが……
だい……
すき……♡



3個で言わせた
……新記録♡

……へ？

こっちの話♡

奥宮さん……？
このまま……

繋がったまま……
お尻に入ってるもの
出してみても♡
手使わずにね



ほら
頑張ってる♡

半端に入ってるの
気持ち悪いでしょ？

あ……う

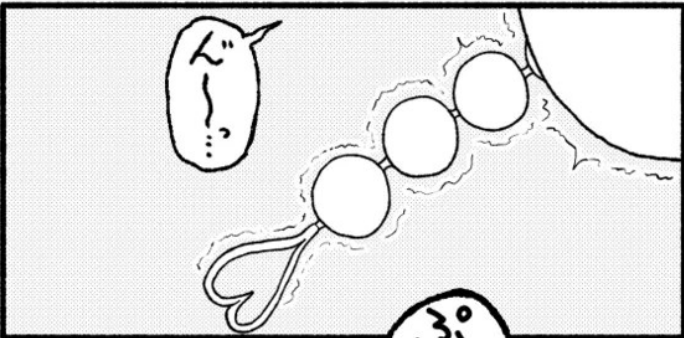


へ……？ え……っ
そ それ……って……

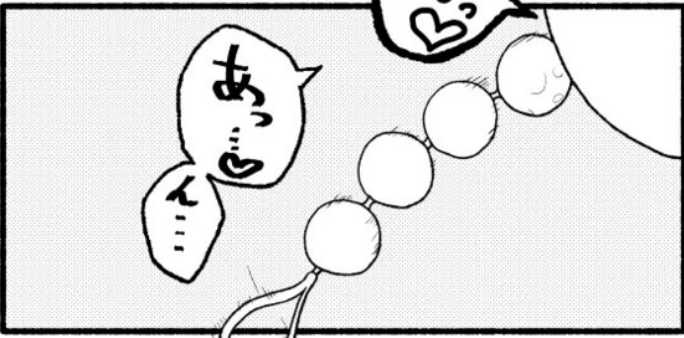
そしたら……
この催眠は一旦
終わりにしよう
奥宮さん



んんん
!!?



んんん……



んんん……
んんん……



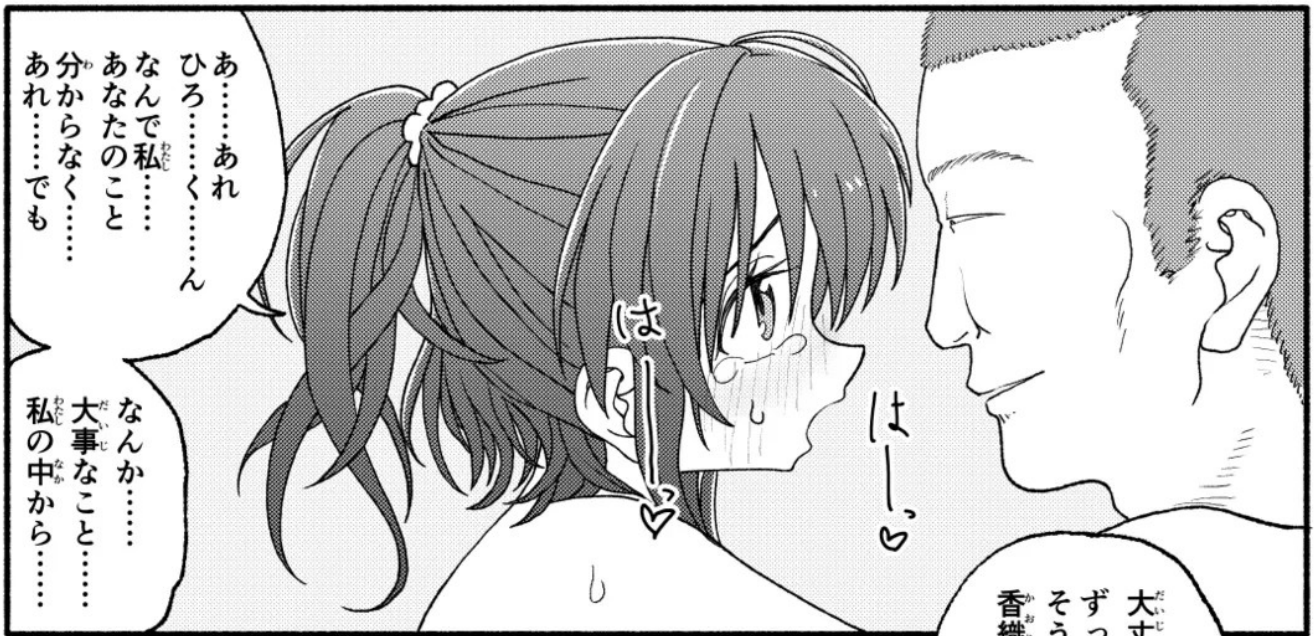
ふふ……
お尻も開発
されたもんね
気持ちよさも
あつて

もう頭わけ
わかんないね？
……香織

ほら
あと一個
頑張れ♡

あ……

え……？



あ……あれ
ひろ……く……ん
なんで私……
あなたのこと
分(わ)からなく……
あれ……でも

なんか……
大事なこと……
私(わ)の中(なか)から……

はー♡

大丈夫(だいじゆうぶ)
ずっと側(そば)に居(い)るから
そうでしょ？
香織(かおりの)♡



頭に霞(かすみ)がかかっている
みたいで不安(ふあん)だよ
頑張(がんば)ってそれ
お尻(おしり)から出(で)したら
すっきりするから
頑張(がんば)ろ♡
もう
ちよつとだよ

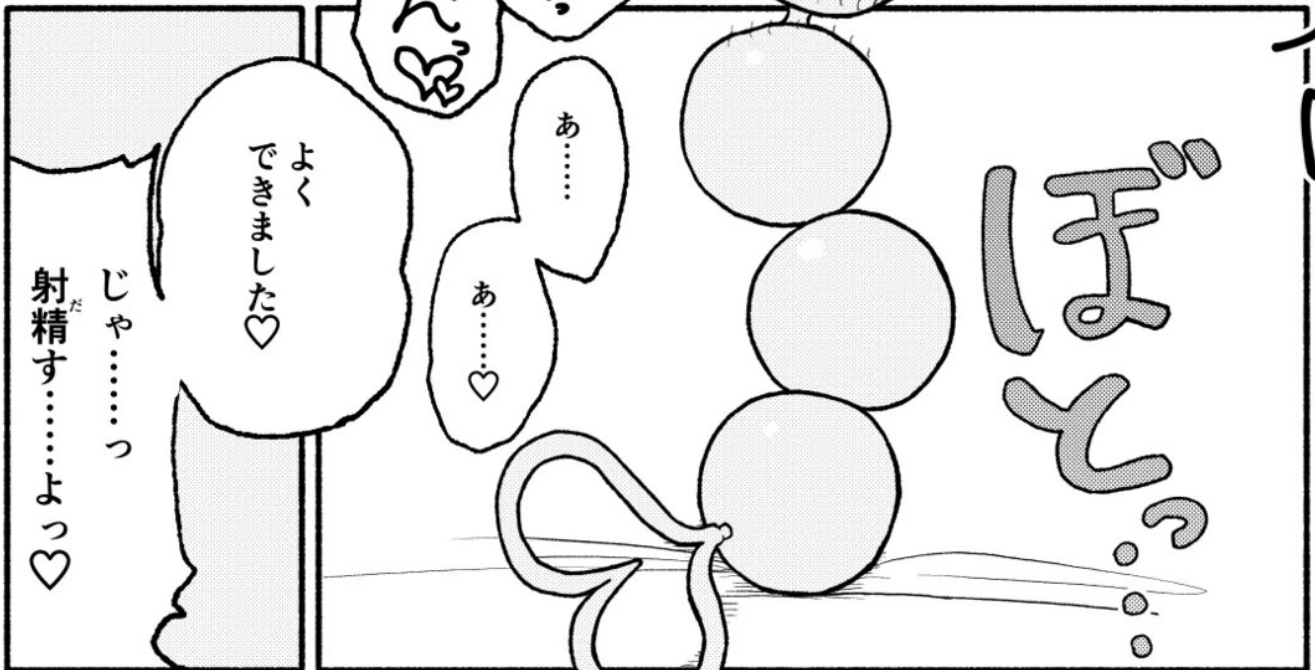
ううん
わかった……♡

ん……
んん……っ!!



う……う……!!
ん♡

ふ……っ♡



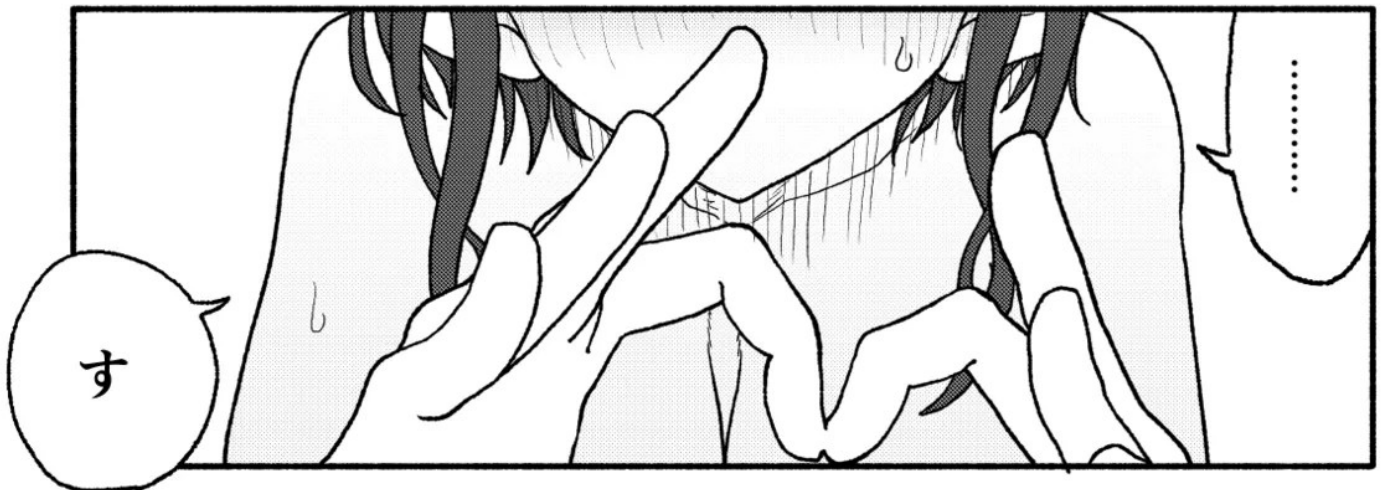
よく
できました♡

あ……
あ……♡

ぼ……っ♡

じゃ……っ
射精(だ)す……よっ♡







き

だいすき♡



約束は
破っちゃった
けど……



奥宮さん……
絶対に



完全に
墮としてみせる
からね……♡